

風間直樹通信

発行：風間直樹後援会 〒943-0807 新潟県上越市春日山町 2-12-3 TEL:025-525-1135 FAX:025-525-1136 E-mail:n-kazama@joetsu.ne.jp

発足から3ヶ月で早くも麻生政権は失速し、内閣支持率は急落しました。

給付金問題の迷走や年金と後期高齢者医療制度問題など、様々な原因がありますが、やはり決定的なのは、これでもかと繰り返される不用意な発言ではないでしょうか。

かつてブッシュ(父)政権で国務長官を務めたジェームズ・ベーカー氏はその回顧録の中で、「政治家にとって言葉は『貨幣』」だと記しています。つまり政治家は言葉によりはじめて国民を説得し、支持を得ることができるのです。民心を奮い立たせる演説で圧倒的な支持を得たオバマ次期大統領の例を見れば、その意味は明らかでしょう。

麻生総理の浅薄な言葉遣いは、根源的には総理自身の対人観、人生観から発しているように思えてなりません。こうした状況の中、政権は年明けにも瓦解しそうな気配が出てきました。三たび総理の首を変えるわけにいかない自民党。その形は内部崩壊による分裂か。総選挙を経るか否かは別として、民主党が政権を担う可能性が高くなってきたことは間違いありません。

既に国家再生の処方箋は、各政策部門会議での徹底的な議論を経て、党のマニフェストにまとめられました。この処方箋を不断に更新し、政権担当の準備に日々精励することが、6年という任期を頂いた私の現在の責務に他なりません。



参議院議員

風間直樹



9/24

第170回
国会開会

本会議前の参議院議員総会です。定額給付金、第二次補正予算の先送りなど、一向に経済対策を打てない麻生総理に国民は不信と不満をつのらせています。世論調査では党首力でも逆転し、民主党政権への期待は高まっております。議員総会でも意気軒高です。



11/14

委員会の
質問準備

週明けの決算委員会
の質問内容を各省庁に
通告しました。
この日は3省庁から
20人を超える方がお
見えになり、国会事務
所も満杯の状態です。
各省庁の方々も質
問内容を聞き漏らさな
いように必死です。

10/20

部門会議

民主党の厚生労働部門会議で
「厚生年金記録改ざん問題」が明
らかになりました。この問題の事
態解明と被害者の早期救済を目指
して、これからもこの問題に真剣
に取り組んでまいります。



元社会保険庁職員からの証言を聞く



11/18

決算行政
監視調査会

19年度決算の内容説明を受けました。
そこで独立行政法人が締結している契約
のうち、競争のない随意契約が全体の約5
割(2.2兆円)もあることがわかりまし
た。また、国からの委託を公益法人に再委
託するといった、「丸投げ」をしていると
ころが全体の約5%もあります。さらに天
下りも改善されていません。税金の無駄遣
いを一刻も早く止めなければなりません。

11/17

決算委員会

河村官房長官、舛添厚労大臣と会
計検査院に対し、高齢障害者雇用支援機構か
らの委託費を、雇用開発協会が飲食やカラオ
出張などに不正流用(2億2千万円)した問題
について追及
しました。税
金の流用は許
されてはなら
ないこと。再
発防止に取り
組むことは議
員の責務です。



12/18

厚生労働委員会

「障害者雇用促進法改正案」に対する質
問に立ちました。
国は301人以上の企業に対し、1.
8%の障害者雇用を法令で定めていま
すが、多くの企業が達成していないのが
現状です。今回の法改
正で、雇用義務を10
1人以上の企業まで
拡大しますが、本当に
雇用率を高めること
ができるのか、真の共生
社会が実現できるの
か、政府に質しまし
た。これからも検証し
ていきたいと思っ
ております。

12/12

拉致特別委員会

河村官房長官、中曽根外務
大臣、そして帰国後すぐに委員
会に駆けつけた外務省の
齋木局長に対して六者協議
の結果や支援の内容につい
て質問いたしました。



風間直樹事務所

国会 TEL:03-3508-8521 上越 TEL:025-525-1135

ホームページがリニューアルしました。ぜひご覧下さい。

<http://www.kazamanaoki.com>